

評価概要

「議員活動の自己評価」

令和元年度分（平成31年4月～令和2年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で15回目となります。右表の5主要指針について具体的に取組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の156項目中、「○ほぼ満足」は61件で39%、「△努力が必要」は83件で53%、「▲さらに努力が必要」は12件で8%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の156項目中、「○ほぼ満足」は27件で17%、「△努力が必要」は80件で51%、「▲さらに努力が必要」は49件で31%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が39%であるが、結果の評価では17%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、3名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施しています。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名	花田 勇		佐藤 孝男		平沼 昌平		木村 隆		川村 明雄	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	5	2	10	6	8	3	9	3	0	0
△ 努力が必要	4	6	1	4	7	6	4	8	12	10
▲ さらに努力が必要	0	1	0	1	0	6	0	2	5	7
計	9	9	11	11	15	15	13	13	17	17

議員名	杉村 志朗		藤山 大		小鹿 昭義		平野 隆雄		溝部 幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	6	2	7	3	10	1	4	2	2	2	61	27
△ 努力が必要	7	9	5	9	4	10	12	9	27	11	83	80
▲ さらに努力が必要	0	2	0	0	0	3	2	7	5	21	12	49
計	13	13	12	12	14	14	18	18	34	34	156	156

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「結果」＝結果の評価〕

○議員個人としての活動

	花田 勇	藤山 大	溝部 幸基
報告会等の実施	1	1	1
議員だよりの発行	—	—	—
個人ホームページの開設	—	—	○
その他	—	—	—



●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、10名の議員で総数166項目（昨年度：10名提出 156項目）となりました。

【個人票はP29～P31に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：平成31年4月～令和2年3月（藤山議員と小鹿議員は令和元年9月～令和2年3月）

花田 勇 79歳

総務教育常任副委員長、議会運営副委員長、議会選出監査委員
議員歴9年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	一次産業の漁業や農業が活性化しなければ福島町は明るく生活を楽しむ町にならない。そのためにも人財育成が大切	○	△
財政	5次計画前半4年はかなりの財源を町民のため投資したと思いますので、後半はゆっくりと必要な事業を見極めて財政に取り組む	○	○
経済	養殖漁業の拡大に力を入れていきたい。そのためにも若者の定住できるような漁業の町になるように提言	○	△
福祉	高齢者に対するサポート体制の充実の提言	△	△
	ガンなんかには負けない福島町をより多くの町民へ周知	△	△
	通院バスの充実の提言	○	△
教育	小・中学校一貫教育の提言	△	△
	福島商業高校の存続のための提言	△	▲
その他	青の洞窟と岩部クルーズを柱にした、福島町を観光の町にするための提言	○	○

佐藤 孝男 73歳

経済福祉常任委員長、議会運営委員、渡島西部広域事務組合議会議員
議員歴25年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災対策の推進（避難訓練のあり方、災害弱者、冬場の対策など）	○	○
	人口減少で公共住宅建設の再調査	○	▲
財政	将来を見据えた財政健全化の推進	○	○
経済	一次産業の振興、新規就業者の確保と育成	○	△
	ほだ木確保のため町有林の再調査と作業路の整備	○	△
福祉	予防医療の推進	○	○
	デマンドバスの利用拡大と推進	○	○
教育	学校給食センターにおける地場産物利用の強化	○	○
	体験学習を通じた食育への取り組み	○	△
	福島商業高等学校の存続の強化	△	△
その他	各種行事の積極的な参加	○	○

平沼 昌平 64歳

議会運営委員長、経済福祉常任委員、渡島廃棄物処理広域連合議会議員
議員歴15年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	雇用の場の創出に向けた提言	○	▲
財政	効率的な事務事業を検証し、経費節減に対して提言する	○	▲
経済	後継者育成と定住化促進に向けての提言	△	△
	一次産業に対する施設整備の提案と経営安定化に対する提言	△	▲
	町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言	○	△
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制の提言	○	△
	健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方について提言	△	▲
	社会教育の充実と施設環境の整備に対する提言	△	△
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言	○	△
	有害獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保・事業の広域的（4町）取組の環境整備に対する提言	○	○
	吉岡総合センターの活用と運営に対する提言	○	○
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対する提言	○	○
	漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言	△	▲
	水産加工業に対する支援体制と雇用体制の充実に対する提言	△	▲

木村 隆 40歳

総務教育常任委員
議員歴13年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	総合計画後期への提言	○	○
	がんばる地元応援事業と起業支援の見直し	○	○
	道の駅の方向性の明確化	○	△
経済	アワビ陸上養殖の事業化の推進	○	△
	改良住宅建て替えの提言	△	△
	水産加工業への雇用・原料確保対策	○	△
福祉	保育士の確保	○	△
	介護対策（地域支援事業）の推進	△	▲
教育	英語・プログラミング等2020年教育（※）への注視	○	○
	高校存続と地域高校のあり方の検討	○	▲
その他	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	第2青函トンネル構想の推進	△	△
	木古内自動車学校閉校に対する生徒支援	○	△

※「2020年教育改革」
新学習指導要領が導入され、小学校でプログラミング教育の必修化、5・6年生の「外国語教科」新設され、生徒が主体的に対話しコミュニケーションをとる授業方式（アクティブラーニング）も取り入れられる。大学入試センター試験の記述式変更など学校教育が大きく変わる。

川村明雄 74歳

総務教育常任委員長、
議会運営委員
議員歴12年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住・少子化対策への政策提言	△	△
	第二青函トンネル構想推進	▲	▲
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用	△	▲
	「道の駅」構想に関する経済、財政面からの考察	▲	▲
経済	空き家利活用の対策提言	▲	▲
	定住促進に繋がる経済対策の考察、提言	△	△
	岩部地区の観光面からの再開発構想の具現化	△	△
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進	△	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言	▲	▲
	デマンドバス利用料金の再考と利用促進	△	▲
教育	福島高校存続対策の推進・小中高一貫教育の考察	△	△
	学校教員の働き方改革への考察、検討	△	△
	虐待、いじめ、不登校に向き合えるゆとりある施策追究	△	△
	松前半島道路計画の推進	▲	▲
その他	町内会を始めとするボランティア・文化活動の推進	△	△
	長寿と定住に繋がる関係課題の考察探究	△	△
	消費税と基礎年金への関心喚起・考察	△	△

杉村志朗 71歳

総務教育常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議員
議員歴21年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	第二青函トンネル構想実現の推進	○	○
	状況に見合う条例の見直し提言	○	△
財政	町民が安心できる財政健全化の推進	△	△
	第5次総合計画（後期）の推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
経済	養殖事業（アワビ・コンブ）安定化の推進	△	△
	一次産業（後継者の育成）推進提言	○	△
福祉	高齢者に対する各種行事の参加増を期待	○	△
	デマンドバスの効率的巡回の充実推進	○	○
教育	少子化による学校教育の充実	△	△
	福島商業高等学校入学増の対策強化	△	△
その他	今後の過疎・人口減少問題	△	△
	高齢化社会に対応（葬祭費）の検討	○	▲
	商店街の活性化	△	▲

藤山 大 45歳

経済福祉常任副委員長
議員歴7年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	第二青函トンネル構想推進	△	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災対策の推進	○	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	○	○
経済	一次産業のさらなる発展への提言	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
経済	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	△	△
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	○	△
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	○	○
教育	福島商業高等学校存続対策と商業高校を活かした新たなクラブ活動のあり方	○	△
その他	今後の「道の駅」のあり方（新設なら温泉・福祉センターを含めた新たな「道の駅」構想）	○	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果が期待できるイベント集客力を目指すための提言	△	△

小鹿昭義 67歳

経済福祉常任委員、
議会運営委員
議員歴0年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	○	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言	○	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	○	△
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	○	△
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	○	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
経済	「黒米」や「養殖真昆布」などのブランドを全国に更なる発信を推進	○	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	○	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	○	△
	健康で働く意欲の旺盛な高齢者のためにシルバー人材センター開設を提言	△	▲
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	▲
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	▲
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	○	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	○

平野隆雄 71歳

副議長、広報・広聴常任委員長、
総務教育・経済福祉常任委員、
渡島廃棄物処理広域連合協議会議員
議員歴24年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	第二青函トンネル構想推進	○	△
	町内景気の活性化推進	△	▲
	福島川改修事業の早期実現	△	△
財政	財政調整基金の活用	△	△
	町立診療所運営の健全経営実現	△	▲
	各町内会館の再編推進	△	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
経済	蝦夷アワビの新たな商品開発推進	△	▲
	スルメ加工以外の商品開発推進	▲	▲
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	△	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増提言	△	△
	がん検診の検診率向上推進	△	△
教育	少子化の中の教育行政推進	△	△
	学芸員配置で縄文土器等による町づくり	△	▲
その他	福島商業高等学校入学増の推進	▲	▲
	学校等における相撲人口増で横綱の里推進	○	△
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	○	○
	伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進	△	▲

溝部 幸基 72歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議長
議員歴39年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (各種計画に関する提言・検証)	△	△
	自律、協働の「小規模多機能自治(※1)」に関する調査研修	△	▲
	「公契約条例(※2)」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等)	△	▲
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	△	△
	「平和の町宣言」に関する調査研修	△	△
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
	選挙運動費用公費負担制度(※3)の検証	△	▲
財政	財政健全化への取り組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)	△	△
	特別職退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	地方自治法改正による監査制度の検証 (議選監査委員・議会監査の在り方)	△	▲
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発 (ブランド化システムの再検討)	△	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取り組む産業公社の仕組みづくり の調査研修	△	▲

※1「小規模多機能自治」

小さい区域で住民や地域の団体が集まって、地域課題を解決し、地域を運営していく仕組みのこと。

※2「公契約条例」

町が民間企業と契約を結ぶにあたり、各企業間での競争による価格の低下に伴う労働条件の悪化を防ぐために定める条例。

分野	具体的な項目	評価		
		取組	結果	
経済	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲	
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修	△	▲	
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	▲	▲	
	予防医療の推進	▲	▲	
	在宅介護支援体制の整備	△	▲	
	簡易水道料金の見直し(用途別基本水量・水道料金)	△	△	
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修	△	▲	
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査研修	△	▲	
	「子育て基本条例」制定に向けた取り組み (情報収集・研修)	△	▲	
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲	
	食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)	△	▲	
	その他	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現(議会基本条例の周知)	△	△
		活発な討議(討論)ができる議会の実現	△	△
政策的な提案のできる議会の実現		△	△	
町議会議員選挙への供託金制度導入(※4)		▲	▲	
幅広い情報収集、積極的な研修参加		△	△	
その他	視察の積極的な受け入れ(葛巻町・大多喜町・北上地区行政組合・出雲崎町・大空町・上ノ国町・計8自治体55名：2市6町村)	○	○	
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△	
	各種行事、研修への積極的な参加(活動実日数267日)	○	○	

※3「選挙運動費用公費負担制度」

立候補しようとする人の金銭的な負担を減らし、資産の多少に関わらず立候補や選挙運動の機会を均等に持てるようにする制度。

※4「議会議員選挙への供託金制度」

選挙に立候補する際に、法務局等へ決められた金額または金額相当の国債証券を支払う。当選もしくは決められた得票数以上であれば返還され、達していない場合は没収される。
現在の公職選挙法では、町長選挙には50万円とされているが、町村議会議員選挙では不要とされている。



議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：令和2年4月～令和3年3月

〔花田 勇〕



分野	具体的な目標項目
行政	若者が定住できる雇用の場の創出 第2青函トンネル実現に向けた提言

分野	具体的な目標項目
財政	第5次総合計画後期計画4年間について財政健全化を考えたがらの推進を提言
経済	養殖事業（昆布・アワビ等）のブランド化の推進を提言 観光（青の洞窟）の充実を提言
福祉	ガン検診の受診を町民にさらにアピール 高齢者の通院バスの確立について提言
教育	少子化による小・中一貫の教育に向けた提言
その他	道の駅や温泉施設の改修か新築かについての提言

〔佐藤 孝男〕



分野	具体的な目標項目
行政	チャレンジスピリット応援制度の有効利用と強化 大型公共施設の整備と改修を提言 (福祉センター、吉岡温泉ゆとらぎ館)
財政	財政健全化の推進（基金有効活用） 総合計画の推進とチェック強化
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成

分野	具体的な目標項目
経済	ほだ木確保のため町有林の調査、作業路の整備推進
福祉	デマンドバス利用料金見直し、利用促進 予防医療の推進
教育	学校給食での地場産作物利用強化 福島商業高等学校存続強化、募集の見直し 食育の取り組み、体験学習の実施
その他	第2青函トンネル構想に向けての推進 各産業団体との懇談会の実施。現場へ出向いて生の声を聞き、議会活動に役立てる 各種行事の積極的な参加

〔平沼 昌平〕



分野	具体的な目標項目
行政	職員の効率的作業体制と町民との意思疎通に対する提言 雇用の場の創出と定住対策について わかりやすい資料の作成とIT化による資料の作製に対し提言
財政	効率的な事務事業の提言と検証から経費節減の提言
経済	昆布養殖事業に対しての将来的作業体制の在り方と方向性の提言 水産加工業の新たな商品開発と機械化そして雇用の確保の提言

分野	具体的な目標項目
経済	農林水の一産業の基盤整備と将来的方向性に対する提言 観光業の多元的（場所・食・歴史、等）な活路の提言
福祉	高齢化に向けての自助、共助、公助に対する提言 健康な街づくりに向けた医療機関の充実と感染予防に対する危機管理と災害対応に向けた取り組みについての提言
教育	子育て環境の充実と保護者に対する充実したサポートの提言 社会教育的観点から郷土の再認識と町民意識の向上の提言 IT教育環境の整備と体制づくり・活用の充実に対する提言
その他	人口減対策としての2025、2040年に向けて（※）の対応と危機管理を持ってまずは現状の認識と今後の方針に取り組む姿勢づくりの提言 第二青函トンネルの情報を当町主体で全国に発信する 前浜漁業環境の整備と漁獲向上に対する提言

※「2025・2040問題」

2025年に団塊の世代が後期高齢者（75歳）になり、2040年には65歳以上の人口がピークを迎え、人口減少も進んでいく。
(福島町人口ビジョンによる2040年の推計人口は1,741人)

〔木村 隆〕



分野	具体的な目標項目
行政	新型コロナウイルス感染予防対策 道の駅、答申に伴う方向性
財政	新型コロナウイルス対策に伴う財政出動 新型コロナウイルス終息後の景気対策

分野	具体的な目標項目
経済	コンブ作業の効率を上げる情報収集 スルメ原料輸入等の確保政策 改良住宅建て替え計画の注視
福祉	介護従事者の作業効率を上げる仕組み作り
教育	新型コロナウイルス終息後の学校教育 高校存続の在り方 英語・プログラミング等2020教育の推進
その他	第2青函トンネル構想の推進 若い人を町に戻す取り組み、政策

〔川村明雄〕



分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネル構想の推進強化 松前半島道路の計画推進と世論喚起 まちづくり視点からの空き家対策の推進
財政	費用対効果からの視点探求 町内経済活性化視点からの調査探求 各基金の有効活用視点の探求
経済	新型コロナウイルス対策と町内経済の維持促進 地場産品のブランド化への挑戦視点の提言 農業、林産業への視点強化対策

分野	具体的な目標項目
福祉	高齢者等への交通維持対策の考察 道内でも超高齢化の現状にある視点からの福祉対策 福祉関係に精通する人材育成強化施策
教育	福島高校存続の構想等抜本的対策の推進 学校教員の働き方改革への考察提言 読み（英語）書き（書道）算盤（ソロバン）視点の理解
その他	町民要望に対する考察、実現 ボランティア・文化活動の推進 岩部地区の観光視点からの考察提言 当町定住対策歓迎体制の町民理解の醸成強化 児童生徒を持つ外国人世帯の受け入れ態勢の考察 水道条例見直し提言 墓地公園管理関係への提言

〔杉村志朗〕



分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネル構想推進 道の駅の早期方向性

分野	具体的な目標項目
財政	一次産業の経営安定化 安心できる財政健全化の推進
経済	陸上養殖（アワビ）安定化の推進
福祉	過疎対策・人口減少問題・高齢者の安心居住問題
教育	福島商業高等学校存続体制の推進
その他	他町に誇れる花等の美化運動 クルーズ船に対応した岩部地区公衆トイレ設置の実現

〔藤山 大〕



分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネル構想推進 若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言 危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
財政	優先順位を持った財政運営の推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言 漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言 農業者へのやさしい対応と後継者育成 新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）

分野	具体的な目標項目
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	福島商業高等学校存続対策と商業高校を活かした新たなクラブ活動のあり方 文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）
その他	今後の「道の駅」のあり方（新設なら温泉・福祉センターを含めた新たな「道の駅」構想） 各種行事への積極的な参加 各種団体と協力し、経済効果が期待できるイベント集客力を目指すための提言 松前半島高規格道路整備の推進 観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等） 自分から「できる事」一步宣言 インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter）

〔 小 鹿 昭 義 〕



分野	具体的な目標項目
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言 新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進 経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進 自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進

分野	具体的な目標項目
経済	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進 健康で働く意欲の旺盛な高齢者のためにシルバー人材センター開設を提言 子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言 家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む

〔 平 野 隆 雄 〕



分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネル構想推進 町内景気の活性化推進 福島川改修事業の早期実現
財政	財政調整基金の活用 町立診療所運営の健全経営実現 各町内会館の再編推進

分野	具体的な目標項目
経済	養殖コンブ製品増の推進 蝦夷アワビ（養殖）の新たな商品開発推進 スルメ加工以外の商品開発推進
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言 吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増提言 がん検診の検診率向上推進
教育	学芸員配置で縄文土器等による町づくり 福島商業高等学校入学増の推進
その他	学校等における相撲人口増で横綱の里推進 岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進 伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進

〔 溝 部 幸 基 〕



分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証） 自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査 「公契約条例」に関する調査研修 行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等） 防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修） 「平和の町宣言」に関する調査研修 浄化槽（下水道整備）の普及推進 選挙運動費用公費負担制度の検証
財政	財政健全化への取り組み（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用） 退職手当制度の抜本的改善 監査制度改正の検証（議選監査委員・議会監査の在り方）
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設 異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討） 地場産品の6次産業化に関する調査研修

分野	具体的な目標項目
経済	産業公社の仕組みづくりの調査研修 地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査 「健康な町づくり（全町的取組）で医療費の節減 予防医療の推進 在宅介護支援体制の整備 簡易水道料金の見直し（用途別基本水量・水道料金）
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修 過疎自治体における高等教育推進に関する調査 「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集） 「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進 食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）
その他	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知） 活発な討議（討論）ができる議会の実現 政策的な提案のできる議会の実現 町議会議員選挙への供託金制度導入 幅広い情報収集、積極的な研修参加 視察の積極的な受け入れ ホームページの充実（提案・情報発信・参加型） 各種行事、研修への積極的な参加